



厳木小だより No.6

長子配布

令和 5年 6月22日
文責:前田 雅利

～ 豊かな心を培い 夢に向かって 主体的・創造的に活動する子どもの育成 ～

◇ 教育の日の参観ありがとうございました

6月11日(日)は唐津市教育の日で、4年ぶりに一般公開をし、保護者や地域の方、そして学校関係者の合計107名の方に本校の教育活動の様子を参観いただきました。

2時間目には全学年道徳の授業を、3時間目は1年生から4年生までは各教科の授業、5年生と6年生は、育友会の体育部主催で、唐津消防署南部分署の方を講師としてお招きし、救急救命法講習会を行いました。



授業参観の様子



救急救命法講習会の様子

授業参観について4点満点のアンケートに協力いただき次のよう結果を得ました。(回答数18)
学校環境(玄関や廊下・階段の整頓状況)や教室環境(掲示物やロッカーの中の整頓状況)、道徳の授業や各教科の授業、救急救命法講習会の実施状況について尋ねたところ、3.56～4点という状況で、概ね良好、良好ととらえられる結果でした。いただいた回答をもとにこれからの教育活動へ生かしていきたいと思えます。

保護者や地域の方からいただいた感想をいくつかお知らせします。

- ・道徳で大切な内容を授業されている状況が分かりました。子供たちも良く理解できているようでした。
- ・道徳の授業がよかった。
- ・高学年になればなるほど児童への配慮が、一斉授業の中では難しいだろうと思いました。
- ・(救命救急法講習会で)子供たちも恥ずかしいと思う反面、もしもの時のためにと一緒に懸命取り組む姿が見れて良かったです。
- ・子どもと一緒に救命救急法の勉強ができて良かったです。
- ・(救命救急法講習会は)貴重な経験だったと思います。
- ・(救命救急法講習会で)プールで気をつけることもあったらよいと思いました。

※いただいた原文に一部加筆・修正をしています

今後、授業参観等では、アンケートを実施したいと考えています。今回は玄関の受付にアンケート用紙をおいていたのですが、目につきにくかったようです。次回もアンケートへの御協力をお願いします。

◇ 第22回巖木町教育フェスティバルを行いました

唐津市教育の日の午後は、巖木町の小学生は巖木中学校へ移動し、教育フェスティバルに参加しました。今年は、巖木町にゆかりのあるカノエラナさんに来ていただき、「私が夢をつかむまで」というテーマで約1時間トークとコンサートを行いました。町内の小中学生、高校生、保護者・地域の方、約400名がカノエラナさんの遠くまで響く歌声、そしてトークにひきつけられました。

カノエラナさんは、高校時代デビューするために東京に出たそうですが挫折し、夢を一度はあきらめようとしたそうです。そこで、いろいろな人との関わりを通して、再度自分の夢をつかみ直したそうです。そんなトークの中で印象的だったのは、次のような言葉です。

「背中を押してもらって今がある」

「あきらめず、やり通すことができ今がある」

「小さなことでも続けることが将来のためになる」

「今なりたいもの（こと）を口にする」

心の中で思っているだけでは、夢を実現させることは難しそうですね。親としては、子どもたちには、自分のなりたい職業について輝いてほしいものです。

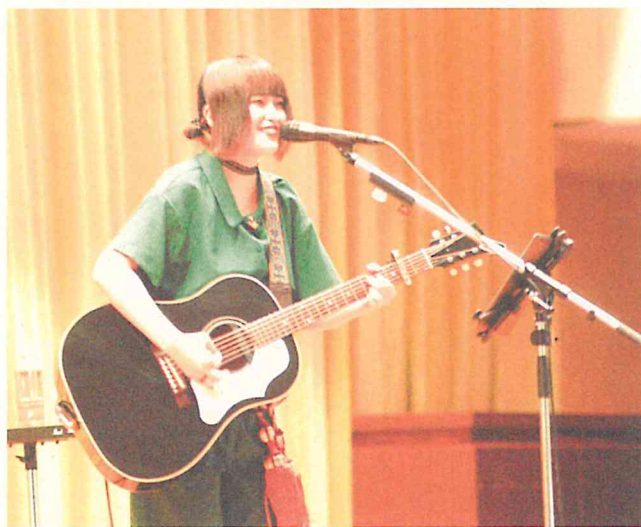
また、カノエラナさんが母親からの躰として3つのことを言われていたそうですが、そのことも印象的でした。

「字を丁寧に書く」

「先生や先輩には敬語を使う」

「人の文句を言わない」

この3つのことは、誰にでも当てはまりそうな、当然できてほしいことだと感じます。それに、無理せずとも、すぐに真似できそうなことですね。人が成長するためには、よいと思ったり、感じたりしたら、すぐに行動に移すことも夢をつかむためには必要なことのように感じます。



巖木小学校の70名の子どもたちが、将来自分の夢をつかむことができますように。